



西宇和柑橘夏期研修大会開催

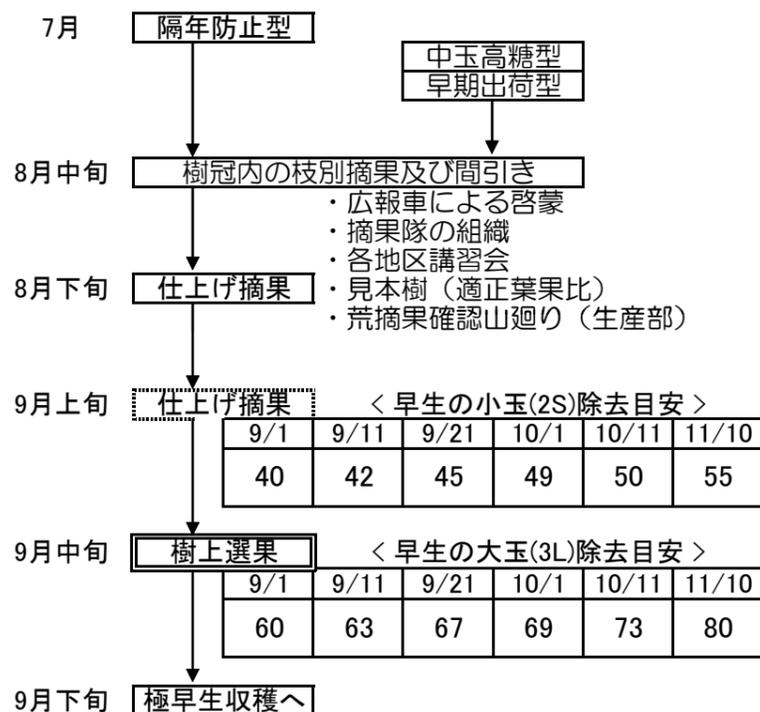
今年も西宇和農協で柑橘夏期研修大会が盛大に開催されました。大会スローガンは『勝利への道しるべ・明日へ向けてワンステップ』実践・行動・信頼です。前回までの産地情報にておつなぎしましたが、今年の生産量は決して少なくはありません。平成19年と比較すると少ないですが、確実に昨年より

多く、摘果作業を徹底して行なわなければ、高品質生産はもとより、次年度に向けた生産量の確保や、今年の適正な需要量に調整する事は難しく、梅雨明け前から各農家、大雨の中カッパを着て摘果をしていました。そのような状況下で今年の大会が開催されました。重点実施事項は右記の通りです。

重点実施事項

1. 結実安定と高品質生産に向けた指導を徹底します。
 - ・目標生産量50,000 tへの抑制と隔年結果の是正。
 - ・マルチ栽培による高品質安定生産の推進。
 - ・品質向上と適正葉果比（早生温州で25枚に1果）を見極めた摘果の徹底。
 - ・階級目標 2L-5% L-30% M-40% S-25% への取組み強化。
 - ・施設品種の安定生産と落葉果樹対策。
2. 所得の上がる奨励品種への転換。
3. 食の安全・安心対策の取組みを更に徹底。
4. 新しい果樹対策についての積極的取組み。

摘果スケジュール



夏期研修大会を終え、各地区生産者のマルチ被覆・摘果作業が本格化してきました。毎日、気温30度超、湿度が高く蒸し暑い中で、気合を入れて

愛媛県みかん研究所 所長 山西 和廣 先生 を迎えて講演会を開催しました。演題は『柑橘生産の現状と今後の方向』生産者全員、集中して勉強しました。知識・技術の向上を生産面に



摘果作業真っ盛り!

6月の干ばつとは打って変って、7月は曇天続きでした。ようやく梅雨明け宣言が出されここ数日は雲一つ無い青空が戻ってきました。さあ、いよいよ本格的に摘果作業の始まりです。今までも雨の中カッパを着ての作業で頑張ってきましたが、更にスピードアップして荒摘果から仕上げ摘果へと進んでいきます。下に摘果前の樹の様子と、摘

果後の園地の様子を写真で載せました。今年は樹の内側にも確実に着果している為典型的な表年の状態です。しかし、時間がかかっても今の努力が品質を向上させ、来年の数量を生むと信じています。ちなみに大きい成木になると1本の樹を摘果するのに、約1時間ほどかかる場合もあり、気が遠くなるような時間と労力を要する作業です。



今のサイズはピンポン玉くらいです。梅雨後半の雨で、遅れていた肥大も平年並み



8/3時点の西宇和生産量予想

分類	品 種	生産予想量	前回増減
極早生	日南・楠本	4,638	▲ 12
温州	宮川早生	26,468	▲ 2,032
	南柑20号	10,380	▲ 1,120
	石地・川田	342	42
	普通	3,352	▲ 28
温州生果小計		45,180	▲ 3,150
温州加工		5,870	▲ 758
温州合計		51,050	▲ 3,910

8月時点の温州みかん予想数量と柑橘生育状況報告

- ・前回調査より、生産量合計で3,900 tの減少。
- ・6月の干ばつにより緑化の遅れが出ている。
- ・一次生理落果は、並〜多い傾向だった。
- ・二次生理落果は、ほとんど無い状況。
- ・園地、樹ごとのバラツキが大きくなっている。

(詳しい生育状況については裏面をご参照下さい。)





柑橘生産状況

**天候不順！これからの仕上げこそ
産地の価値！みかん職人の腕！**

1. 気象状況

＜平均気温＞

単位：℃

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月30日
平成21年	6.9	9.5	10.8	15.8	19.8	23.4	26.8
平 年	6.7	7.4	10.5	15.4	20.5	23.4	27.4
平年増減	+0.1	+2.1	+0.3	+0.4	-0.1	±0	-0.6

- 4月下旬頃、最高気温・最低気温ともに平年より低く推移したため、発芽から満開までの期間が長くなった。(産地・園地による開花のバラツキ)
- 6月上・中旬は、最高気温・最低気温ともに平年より低く推移(曇天続き)
- 7月の気温は平年より0.6℃低く、日照時間も少なかった。
日照時間は平年の73%、昨年の60%と少ない・・・品質に影響大

＜降水量＞

単位：mm

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月30日
平成21年	55.5	111	80.5	51.5	22	294	205
平 年	52.6	63.7	90.3	106.9	169.2	216.8	210
平年比%	106%	174%	89%	48%	13%	136%	98%

- 3～4月は少雨傾向、5月は土壌が乾き深刻な問題となった。5月下旬より、大半の地区で灌水開始(灌水実施面積 1798ha)
- 入梅は6/9で、平年より5日遅く、昨年より12日遅い。
→ 発根・細胞分裂や肥大を促進する上で土壌水分が必要 → 緑化遅れ
→ 隔年防止(次年度生産量対策) → 梅雨芽を出さずこと
- 6/29～30の2日間で188mmの降雨があった。→ 灌水中止
- 梅雨明けは7/31で、平年より14日遅く、昨年より25日遅い(梅雨明けは最も遅かったのは、昭和54年の8月2日)

＜台風9号関連速報＞

去る8/8～8/9にかけて、徳島沖を台風9号が通過しました。この台風による影響は、降水量97mm、強風無しで、ほとんどありませんでした。雨は余計でしたが・・・

2. 柑橘類の生育状況

＜果実肥大＞

単位：mm、%

項目	横 径			縦 径		
	平成21年	平年比	前年比	平成21年	平年比	前年比
極早生	38.7		102%	34.8		102%
早生温州	36.1	103%	102%	33.9	103%	100%
伊予柑	49.8	115%	115%	50.4	115%	110%

二次生理落果における予想生産量

温州みかん 51,050ト(前年比106%) 晩柑 22,555ト(前年比101%)

- 園地・樹ごとのバラツキに加え、産地間のバラツキが大きくなっている
- 干ばつの影響で緑化の遅れ
- 一次生理落果の始まりは海岸ブロックが早く、生理落果自体は並～多い傾向となっている
- **二次生理落果は全体に少なく、肥大はバラツキできている**
(内なり・裾なりについては小玉が多い)
- 外観では果皮やや粗く、風ズレが散見される
(但し、ここにきて果皮の粗さは治ってきている)
- 中晩柑では、デコポン・清見・せとかの生理落果が多く見られる

漁師大杉さんのおすすめ！ 8月の旬は太刀魚！

こんにちは。私こと大杉は午前中 JA西宇和の職員 午後は漁師という生活をします(嘘、釣は趣味) 8月の旬は太刀魚(たちうお) 一般的に売られているものに比べると太さが違う。親指2本分以上の厚みがあり色は本物の刀のように銀色に輝き、これが太刀魚の

名前の由来かぁ！と納得する容姿と味を備えとる。引きも違う！歯も鋭くなかなか手強い相手やけど釣人には堪らない存在ぜ！一度は釣って食べてみてや！



アジをニンニク醤油で!!

アジといえば今が旬の代表魚。身は引き締まり脂がのって、刺身でも塩焼きでもとにかく美味しい！ところで皆さんはアジをニンニク醤油で食べたことはありますか？八幡浜にはアジの刺身をニン

ニク醤油で食べさせる店があります。刺身とニンニク・・・カツオのたたきなどでニンニクが乗つけられることはありますが、刺身を摩り下ろしたニンニクと醤油で食べる。どんな味が想像できますか？恥ずかしい話、筆者も今年初めてニンニク醤油でアジの刺身を食べたのです…。うまし！全く別の魚を食べているような味わい。本当に新鮮で脂がのっているものでなければ、こんな食味は出ないだろうと感動しました。お値段にも感動しました…。家へ帰ったら勘当されそうなの…値段…ああ…。ぜひ一度、お試しあれ！

